

日本文藝學論究

第七十七冊

目次

《シンポジウム》			
特集 国語科教育の今、これから―学習指導を考える―	高山 実佐	(2)	
文学教育史素描	高山 実佐	(2)	
高等学校国語科指導の実際			
―教材として読む文学作品―	廣瀬 愛	(8)	
次期学習指導要領が求めるもの	佐藤 和彦	(12)	
総括	高橋 大助	(18)	
『竹取物語』と勅撰漢詩集―竹と月を中心に―	本間 悠子	(37)	
『うつほ物語』 仲忠の人物造型			
―『孝経』引用を中心に―	蔡 芸	(47)	
『平家物語』源頼政最期譚の改編過程			
―(木津川系)から(宇治川系)へ―	伊藤 悦子	(57)	
『将門記』 玄明女茂層の重層性			
―常陸紛争記事の分析とともに―	野中 哲照	(67)	
太宰治「きりぎりす」論―(剝奪)の先の希求―	齋藤 樹里	(85)	
『鹿踊りのはじまり』と角懸鹿躍―玉里の伝承―	後藤 若菜	(95)	
國文學會通信			
彙報			
編集後記			
			(125)
			(121)
			(108)